

# 【令和6年度 人権問題研修（審議会意見等を踏まえた実施案）】

## 人権問題管理者層研修 (e-ラーニング)

- ・ 同和問題の歴史的背景や被差別体験を身近な問題として理解させるとともに、職場での差別行為等（マイクロアグレッション等の発言含む）への対処、事案把握（マネジメント）、部課職員への教育の必要性を学ぶ必要がある、より専門的な知識を有する者を研修講師に選定し実施する

- ・ 令和7年度から「人権の概念」に関する内容を序章として研修課題に追加検討

## 人権問題指導者研修

- ・ 社会福祉法人四恩学園において「誰もが安心して暮らせる・繋がりのあるまちづくり等について考える」としてフィールドワークを実施予定（調整済）

- ・ 今後も時宜を踏まえた内容を検討し拡大実施（サイクル短縮等）

- ・ 集合研修時に「大阪港湾局職員による差別事案概要」「市長訓示」等について再周知

## 所属別人権問題研修 (e-ラーニング)

- ・ 被差別体験を通じ、差別を受けた方の社会的影響について、身近な問題として理解するとともに、市職員の規範についても学ぶ必要がある。同和地域の実情等を十分理解し、市職員としての認識等を説明できる事業者に研修実施させる

- ・ 職場での差別行為等（マイクロアグレッション等の発言含む）への対処についてもケーススタディとして導入

## 技能職員新任主任研修

- ・ 7月30日（火）に実施済

講義型研修を見直し、受講者間での意見交換や発言をさせるなど参加型要素を取り入れた

また「大阪港湾局職員による差別事案概要」「市長訓示」等について再周知した

- ・ 翌年度研修以降についても、研修内容が自分事として捉えられるよう参加型の研修手法と管理者として部課職員への啓発の必要性について学べる内容として検討する

## 各研修共通

研修内容の理解度テストの実施、アンケート設問の見直し検討（記名アンケート導入など）